

文化遺産を巡る

# スペイン



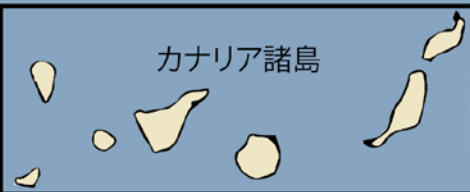
[www.spain.info](http://www.spain.info)

# カンタブリア海



大西洋

地中海



産業観光商務省  
出版元: © Turespaña  
作成: Lionbridge  
NIPO: 086-18-012-3


無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成いたしましたが、お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙: 聖母ピラール聖堂、サラゴサ  
裏表紙: セゴビアの水道橋

## 目次

はじめに	3
あの有名人物を追って	4
ドン・キホーテの道	
カール5世ルートの道	
エル・シッドの道	
ヘミングウェイの道	
ワシントン・アービングの道	
文化遺産を巡る旅	11
銀の道	
ユダヤ人の道	
イスラム教徒の遺産を巡る道	
古代ローマ時代のアンダルシアを巡る道	
芸術と建築	16
洞窟芸術を巡る道	
スペイン北部にロマネスク芸術を求めて	
アンダルシア地方のムデハル芸術に魅せられて	
伝説と共に生き続ける城	
情熱を感じて	
グルメ体験	20
ワイン街道	
イベリコ生ハム街道	
サンティアゴ巡礼の道	22



スペインにある素晴らしい道をたくさん通り、魅力を探す旅に出かけましょう。

はじめに

▲ アルハンブラ宮殿  
グラナダ

千年以上続くスペインの文化を身近に感じ、伝統を学んでみませんか？遺跡で有名な街や、絶景の広がる名勝、時代を動かしてきた史跡を巡る旅に出ましょう。スペインの素晴らしい文化財を前に、感動すること間違いなしです。

旅は無限に広がります。ドン・キホーテのような文学上の登場人物になりきって、セルバンテスが作品の中で描写したラ・マンチャの大地を歩いてみるのはいかがですか？ローマ人が軍用道路として使用した銀の道でロマンを感じたり、生涯で唯一無二の経験を求めてサンティアゴ巡礼の道を辿ったりするのも良いでしょう。

グルメに興味があればきっと虜になる、ワイン街道もおすすめです。世界で

評判の最高級ワインの試飲、広い葡萄畑や歴史ある小さな村々の散策を楽しめるほか、ワインセラピーのセッションで心ゆくまでリラックスすることもできます。イベリコ生ハムはお好きですか？アンダルシア州、エクストレマドゥーラ州、カスティージャ・イ・レオン州を訪れるならぜひ、この絶品グルメを満喫してください。

時をさかのぼり、アラブ人、ユダヤ人、キリスト教徒がスペインに遺した文化の足跡を辿ってみましょう。多くのルートでは、息を呑むほど美しい景観も楽しめます。

スペインの魅力を探す旅に出かけましょう。どのルートを選んでも、素晴らしい体験が待ち受けているはずです。



## あの有名人物 を追って

▲ コンスエグラ  
トレド

### ドン・キホーテの道 セルバンテスが描写する作中の風景がそこに

古典文学の世界的名作「ドン・キホーテ」(Don Quijote de La Mancha)の世界を体験しましょう。このルートを進めば、ミゲル・デ・セルバンテスが小説の中で描写する村々、古道、自然の風景が見られます。ドン・キホーテになったつもりで、風車に戦いを挑んだり、ドウルシネアに心を寄せたり。スクランブルエッグ、チョリソー、ベーコンで作るラ・マンチャ地方の郷土料理「決闘と減退」も試してみましょう。

出発地は アルカラ・デ・エナーレスです。マドリード州にあるセルバンテス生誕の地で、ユネスコの世界遺産にも登録されています。ヨーロッパ最古の喜劇野外劇場のひとつを見学し、街の中心にあるセルバンテス広場へ向かいましょう。活気のあるマヨール通りのアー

ケードには、ショップやカフェ、美味しいタパスを提供するバルなどが軒を連ねます。セルバンテスが生まれ、幼少期を過ごした家の雰囲気再現するセルバンテス生家博物館もあります。

マドリードもぜひ訪れるべきスポットです。マドリードの三位一体女子修道院教会にあるセルバンテスの墓所は必見。セルバンテスが妻と埋葬されている場所と伝わります。1827年創業のタベルナ、カサ・アルベルトで軽くつまむのも良いでしょう。この建物には16世紀、セルバンテスの住居があったと言われています。「ペルシーレスとシヒスムンダの物語」(Los trabajos de Persiles y Sigismunda)と「ドン・キホーテ」(El Quijote)の後編を執筆したのはこの場所です。

3つの異なる宗教文化が融合するトレドもぜひ訪れておきたい街です。細く入り組む路地裏を歩き、歴史の奥深さを感じてください。ロス・ティンテス広場には、セルバンテスが住んでいた家が残っています。ドン・キホーテが心を寄せたドウルシネアが住んでいた村、エル・トボソにも立ち寄ってみましょう。シウダ・レアル 県の カンポ・デ・クリプターナ にはかの有名な風車群があります。ドン・キホーテが巨人と勘違いして戦いを挑んだ場所のモデルとされます。アルマグロでは、保存された17世紀の喜劇野外劇場を見学できます。この地域発祥の名物、マンチェゴチーズを試すのもお忘れなく。



野外劇場  
アルマグロ(シウダ・レアル)



トレド

▶ セルバンテスの像  
トレド



## カール5世の道皇帝の足跡を辿って

退位後のカール5世の軌跡を辿るルートです。皇帝退位後、カール5世はブリュッセルから50隻以上の船を率いてスペイン北部に到着。その後 カンタブリア州、カステージャ・イ・レオン州、エクストレマドゥーラ州と廻り、最後はユステ修道院で隠棲生活を送りました。



▲ ラレド  
カンタブリア州

カール5世がスペインに上陸した地、ラレド（カンタブリア州）から出発しましょう。今は皇帝の胸像が立っています。魅力的な旧市街を散策し、城壁や豪壮な家々を見て回りましょう。海水浴ならラ・サルベビーチがおすすめです。サーフィンを楽しめ、カンタブリア海に船で乗り出すこともできます。

次にカステージャ・イ・レオン州に入りましょう。中世の面影を残す街、メディーナ・デ・ポマール（ブルゴス県）は、カール5世がひと晩過ごした場所として知られています。14世紀に建設された荘厳な城、アルカサル・デ・ロス・ベラスコも見ておきましょう。モニュメントの多いブルゴスでは、歴史あるサンタマリア門が市街地に向かう人々を出迎えます。門の内部に入ると、皇帝に



▲ サンタ・マリア門  
ブルゴス

まつわる歴史的な品々や絵画などを所蔵する各部屋へと続く中世の階段があります。近くに見える尖った塔が特徴的な大聖堂は、ゴシック様式の傑作と言われ、ユネスコの世界遺産にも登録されています。

パレンシア 県では ベンタ・デ・バーニョスを訪れてください。言い伝えによると、西ゴート族のレセスビント王がある源泉の治癒力に感服し、その地にサン・フアン・デ・バーニョス教会の建設を命じたということです。その素晴らしい内装には、誰もが魅了されることでしょう。

ドウエニャス などの美しい街を抜け、バジャドリ県 とその県都であるバジャドリへ向かいましょう。この元王宮 には、カール5世が宿泊したと伝わります。素敵な宮殿内を散歩して回り、プラサ・マヨール や 大聖堂も訪れてみましょう。名物の郷土料理、子羊のオープン

焼きで疲れた体を癒し、エネルギーチャージするのも良いでしょう。

サラマンカ県に到着したら、ペニャランダ・デ・ブラカモンテへ足を運んでください。美しい旧市街が広がります。旅はアビラ県へと続きます。ここではバルコ・デ・アビラの街を訪れてください。かつて皇帝を大歓迎したように、訪れる人々を温かく迎えてくれることでしょう。特産品の白インゲンマメはぜひご賞味あれ。城からはトルメス川の眺めも楽しめます。

ルートも終盤に入りました。エクストレマドゥーラ州では大いに自然を満喫しましょう。春にはヘルテ溪谷に桜が咲き乱れ、花見を楽しむことができます。ガルガンタ・デ・ロス・インフィエルノス自然保護区の豊かな自然にも驚かされることでしょう。イベリアカタシロワシやシロエリハゲワシが大空を舞う様子が見られます。また、その氷河の大きさには圧倒されます。カール5世の足跡を辿るルートの終着地はユステ修道院です。カール5世は修道院に隣接した地に離宮を建設し、そこで残りの生涯を過ごしたとされています。

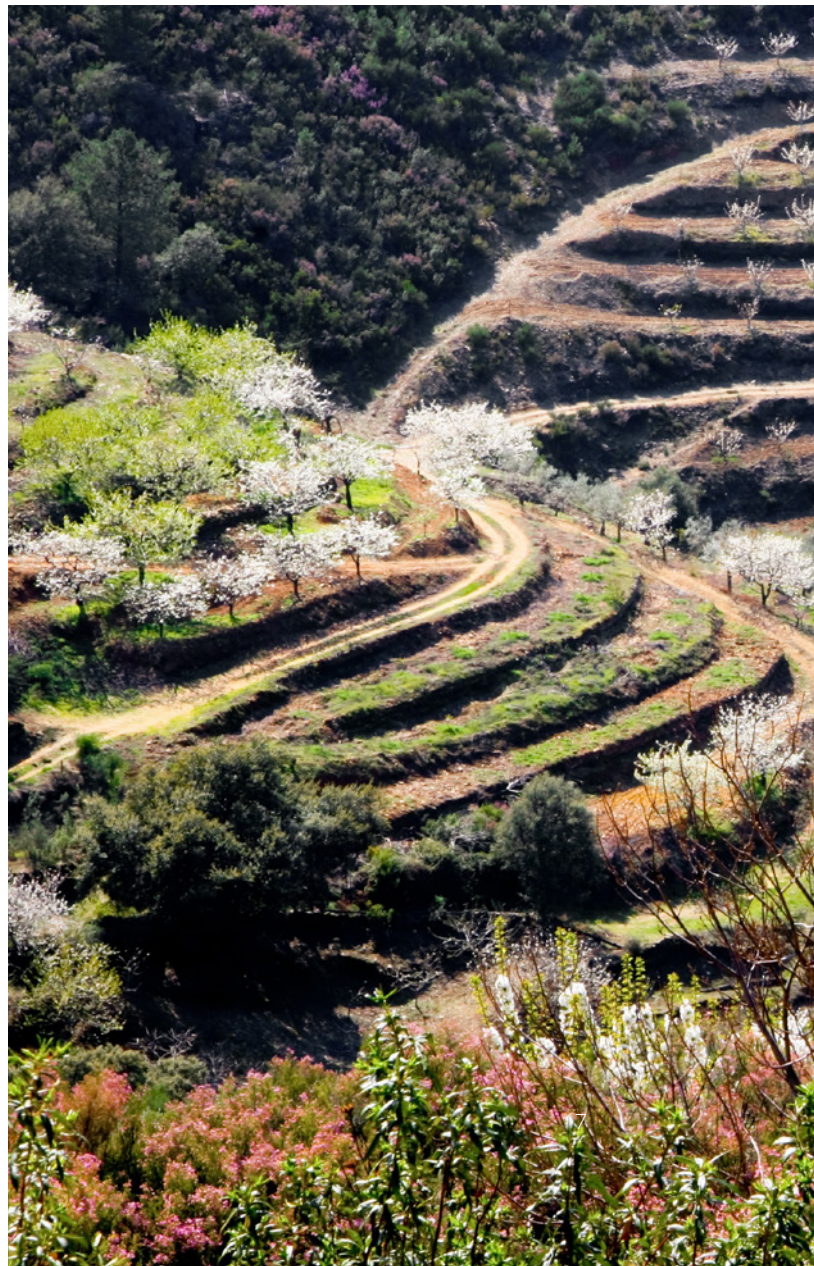


▲ サン・フアン・デ・バーニョス教会  
ベンタ・デ・バーニョス(ブルゴス)



サン・パブロ教会  
バンヤドリ

▼ ヘルテ溪谷  
カセレス





## エル・シッドの道中世の騎士の冒険の旅を追体験

「わがシッドの歌」(Cantar de Mio Cid)を知っていますか?伝説の騎士、勇者シッド(本名:ロドリゴ・ティアス・デ・ビバル)の活躍について語った、12世紀のスペインの有名な叙事詩作品です。このルートでは、彼の栄光の軌跡を辿って、ブルゴス県、ソリア県、グアダラハラ県、サラゴサ県、テルエル県、カステジョン県、バレンシア県、そしてアリカンテ県という8つの地域を進みます。徒歩でも自転車でも、または車やバイクでも辿れるルートとなっています。

この中世の英雄が生まれた地とされている ビバル・デル・シッドから出発し、ブルゴスまで歩みを進めましょう。ブルゴスの 大聖堂 にはエル・シッドとその妻のドーニャ・ヒメナの墓所があります。10月にはフィン・デ・セマナ・シディアーノ(エル・シッドの週末)があり、数日間にわたって街は中世の時代に様変わりし、野外でのショーやトーナメント、中世の雰囲気味わえる市場などで賑わいます。

グアダラハラ にはエル・シッドの城とも呼ばれている圧巻の要塞、ハドラケ城が、シグエンサには今はパラドールへと姿を変えた古城があります。宿泊し、さまざまな名物料理を楽しむのも一興です。

ソリア県ではメディナセリなどの美しい街を訪れましょう。スペインで唯一、3連のローマ時代のアーチが残されています。

眼前に広がる風景は、多様性に富んでいて、コントラスト豊かです。グアダラハラ山脈?や、まるで月面のような風景が楽しめる?ベガ・デル・ハロン(サラゴ?サ県)などを訪れてみましょう。



同ルート上で興味深い街のひとつはカラタユです。サンタ・マリア・ラ・マヨール教会など、アラブ人の手による要塞に、歴史を感じられるムデハル様式が見事に融合し、独特の雰囲気が漂います。城壁と美しい旧市街が魅力的なアルバラシン(テルエル県)では、ローマ時代の水道橋をぜひ訪れてください。

いよいよルートも終盤。1094年にエル・シッドがイスラム教徒から奪回した街、バレンシアに到着です。大聖堂やロンハ・デ・セダなど、街に残された素晴らしいモニュメントを見学しましょう。芸術科学都市のような前衛的な建築物にも圧倒されることでしょう。名物のパエリアを食べたり、ビーチで海水浴を楽しんだりもできます。

① [www.caminodelcid.org](http://www.caminodelcid.org)

▼ サン・フェルミン(牛追い祭り)  
パンプローナ

ヘミングウェイの道ノーベル文学賞作家が書いたナバーラ州を知る

アメリカ人作家ゆかりの地、パンプローナ(ナバーラ州の州都)とその周辺地域を巡り、忘れられない旅の思い出を作りましょう。ヘミングウェイの道では、ノーベル文学賞作家が虜になり、後に9回も繰り返し訪れた場所を見学できます。

カスティージョ広場をひと回りしたら、ヘミングウェイが 巔頂にしていたバル・チョコ、カフェ・クッツ、カフェ・イルーニャなどで休憩しましょう。また、宿泊したことがあるというラ・ペルラホテルに立ち寄るのも良いでしょう。このホテルは「日はまた昇る」(Fiesta)にも登場します。7月6日から14日間は、ヘミングウェイが大いに創作意欲をそそられたというサン・フェルミン(牛追い祭り)も行われます。

作家を魅了した、のどかな街の雰囲気や数多くの美しい風景は、まだまだあります。アリベ、ブルゲテ、ジェサでは魚釣りを楽しむこともできます。のんびりとしたひと時を、ナバーラ州の郷土料理を楽しみながらどうぞ。



イサベル2世橋  
セビージャ

ワシントン・アービングの道楽マン主義の作家が描写するアンダルシアの情景

スペイン、イスラム文明の豊かさと異国情緒あふれる雰囲気魅了されたワシントン・アービングの1829年の足跡を辿ります。このルートメイン都市は、セビージャとグラナダです。

多くの歴史を物語るセビージャは、アーヴィングが恋した街。元は大モスクであった大聖堂には、誰もが感銘を受けるはず。ヒラルダの塔の名で親しまれる鐘楼から見渡す街の全景は忘れられない思い出となるでしょう。トリアナ地区では、タベルナに立ち寄ってフィノ（辛口の白ワイン）を試し、タブラオ（フラメンコ・ショー）でフラメンコの響きに酔いしれてください。

魔法のような異国情緒にあふれる街、グラナダ。宮廷、要塞、ナスル朝のスルタンたちの住まいと、時と共に変遷を経てきたアルハンブラ宮殿は、街の名所です。まるで「アラジンと魔法のランプ」の世界に迷い込んだような宮殿や庭園を散策し、疲れたらグラナダの旧市街で美味しいタパスをつまんで鋭気を養いましょう。

このルートでは美しい街並みが魅力的な、カルモナ、マルチェナ、エシハなどセビージャ近郊の街や、アルアマ・デ・グラナダなどグラナダ近郊の街を訪れることもできます。



ヒラルダの塔  
セビージャ



◀ アルハンブラ宮殿  
グラナダ



## 文化遺産を 巡る旅

道中の素晴らしい景観に、きっと魅了されることでしょう。

▲ ティアナ神殿  
メリダ

### 銀の道ローマ人の軍用道路跡を辿る

セビージャとヒホンをつなぐ、古代ローマ街道を行くルートです。スペインの南部と北部を結ぶルートは、4つの州、アンダルシア州、エクストレマドゥーラ州、カスティージャ・イ・レオン州、アストゥリアス州をまたぎます。さまざまに姿を変える風景、文化、そして食文化を楽しみながら旅しましょう。

道中は、3つの生物圏保護区と、アンダルシアのドニャーナ国立公園、カセレスのモンフラグエ国立公園の2つの国立公園を通過します。

旅の出発地はアンダルシア州の州都、セビージャです。長い歴史を持つ旧市街の賑やかで活気ある通りや広場を散策しましょう。セビージャの旧市街はユネスコの世界遺産に登録されています。数多くのタベルナやタブラオ（フラメンコ・ショー）の店が並ぶトリアナ地区など、個性あふれる人気のエリアへ足を運びましょう。トマトベースの冷製スープ、ガスパチョはアンダルシア地方の名物です。ぜひ味わってみてください。

エクストレマドゥーラ州 では、農園、葡萄畑、牧草地など、のどかな風景が見られます。ユネスコの世界遺産に登録されている、カセレス の旧市街やメリダの考古学遺跡群には驚かされることでしょう。カセレス県では、ユダヤ人街と狭く急な坂道で有名なエルバスや、二つの大聖堂、宮殿、貴族の邸宅など多くのモニュメントが見られるプラセンシアなど、魅力的な村に立ち寄るのをお忘れなく。エクストレマドゥーラ州のイベリコ生ハムは、スペインでも最高品質を誇ります。また、バーニョス・デ・モンテマヨールのローマ時代の温泉施設でゆったりするのも良いでしょう。



▲ ロマネスク様式のモザイク  
国立古代ローマ美術館  
メリダ

カスティージャ・イ・レオン州には数多くの素晴らしいモニュメントがあります。世界最古の大学のひとつ、サラマンカ大学を擁するサラマンカや、ロマネスク建築群が美しいサモラを訪れてみましょう。さらにレオンでは、荘厳な大聖堂が旅人を迎え入れます。この大聖堂は、スペインでも最も素晴らしいゴシック様式を持つ教会のひとつとされています。名物の子豚や子羊のローストを食べて英気を養ったら、旅を続けましょう。

アストゥリアス州に到着です。ここでもたくさんのモニュメントを目にすることができます。オビエドにある、プレ・ロマネスク様式が美しいサンタ・マリア・デル・ナランコ教会やサン・ミゲル・デ・リージョ教会を見学しましょう。ルート上でほかに興味深い場所としては、アストゥリアス州とスペイン中央台地の境目に位置し、ローマ人の移動に重要な役割を果たしたミエレスがあります。山や渓谷、川に囲まれた自然豊かな環境の中、トレッキングやサイクリングツ

アーなどのアクティビティを楽しむことができます。ルートの終着地、ヒホンに到着したら、カンタブリア海に面した散歩道をのんびりと歩いてみましょう。レストランでは新鮮な魚介の料理や、ファバダ(白いんげんの煮込み)、アストゥリアス州名物のシードラ(林檎の発泡酒)をお試しください。旅の締めくくりとして、ローマ時代の城壁跡や、温泉を回ってはいかがですか？

ゴルフが好きなら、ヒホン、セビージャ、レオン、ベナビエンテなどに最新施設を整えたゴルフ場があります。

① [www.rutadelaplata.com](http://www.rutadelaplata.com)

### ユダヤ人の道ユダヤ人街を巡る

ユダヤ人の道は、魅力的なユダヤ人街を回るルートです。スペインに暮らしたユダヤ人と、彼らが遺した主要なモニュメントをぜひご覧ください。

このルートでは20を超える場所を訪れます。代表的な街として挙げられるのはトレドでしょう。トレドは、何世紀にもわたって、西洋のユダヤ人たちの宗教的、行政的中心地として繁栄してきました。レジェス・カトリコス通りには、見事な柱が見どころの サンタ・マリア・ラ・ブランカ教会が、サムエル・レビ通りには、セファルディ(スペイン系ユダヤ人)博物館となっているトランスイト教会があります。また、そこからすぐ近くのトラベシア・デ・ラ・フデリア通りには、ユダヤ人の家もあります。地下に降りると、そこにはユダヤ教の典礼浴場、禊ぎ池(ミクヴ)が広がっています。

城壁にぐるりと囲まれた カセレスの旧ユダヤ人街には、元々はシナゴグだったサン・アントニオ教会があります。城壁を壁にした石灰の白色が美しい家々が、狭く急な坂道に並ぶ光景には驚くばかりです。カセレスには、毎年9月



ロス・ミラグロスの水道橋  
メリダ



トレド



▲ セゴビア



▲ コルドバのメスキータ  
コルドバ

に開催される「ヨーロッパのユダヤ文化の一日」、そして11月の「3つの文化が融合した中世市場」の本部が置かれています。

セゴビアでは、貴重な復興を遂げたユダヤ人街を目にすることができます。街には旧大シナゴグのコルプス・クリスティ教会や、長い歴史を持つユダヤ人墓地があります。

アビラ、バルセロナ、コルドバ、エルバス、プラセンシア、レオンなどにもユダヤ人街が残されています。訪れてみてはいかがでしょうか？観光案内所で「散策パスポート」(無料)を手に入れ、魅力たっぷりの趣ある街の数々を巡ってみましょう。

### イスラム教徒の遺産を巡る道

スペインで8世紀にもわたり一時代を築いたイスラム教徒は、イベリア半島全体に大きな影響をもたらしました。特にアンダルシア地方には、その文化が非常に良い形で残されています。ユネスコの世界遺産に登録されている建築物を訪ねてみましょう。

イスラム教徒の遺産を巡る道では、イスラム支配時代にアル・アンダルスと呼ばれていた南スペインを回り、かつてのナスル朝グラナダ王国とつながっていた残りのアンダルシア地方、ムルシア地方、ポルトガルも通ります。

カリフ王国の道で過去へと時代をさかのぼり、当時の雰囲気を感じましょう。コルドバ、グラナダという、アル・アンダルスのウマイヤ朝(カリフ国)とナスル朝時代に首都の役目を担った二都市をつなぎます。中世のイベリア半島で最も人の往来が激しかった道のひとつを辿ってみましょう。当時、世界中から集まってきた商人たちも同じ道を辿っています。

ナスル朝の道では、旧グラナダ王国の歴史に迫る体験ができます。道中で見られる要塞や城の跡は、かつてのイスラム教徒とキリスト教徒間の領土争いを思い起こさせます。ナバス・デ・トロサを出発し、ウベダ、バエサ、ハエンを通過し、最後はグラナダで旅を終えましょう。自然あふれるシエラ・モレナ山脈、シエラ・マヒナ山脈、シエラ・デ・カソルラ山脈、シエラ・セグラ山脈なども通ります。



▲ イタリア古代ローマ円形劇場  
サンティボンセ(セビージャ)

アルモラビデ朝とアルモアデ朝の道では、主に城や要塞など、これらの王朝文明が遺した遺産を目にすることができます。アルヘシラス（カディス県）を出発し、2本の支道を通って終着地のグラナダを目指す400キロのルートです。ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ（カディス県）やロンダ（マラガ県）などの街を訪れます。

#### 古代ローマ時代のアンダルシアを辿る道

このルートでは、古代ローマ帝国の地理的に最南端に位置していたセビージャ、コルドバ、そしてカディスという県を通ります。

セビージャでは、トラヤヌスとアドリアヌスという二人のローマ皇帝を生み出したイタリア遺跡群を訪れましょう。素晴らしい劇場やローマ帝国時代の円形劇場跡を見学し、昔ながらの古い通りを歩いて家々や公共施設などを見て回しましょう。当時の住民たちの日用品なども目にすることができます。次はカルモナへ向かいましょう。カルモナでは、博物館やローマ帝国時代の二つの門があるネクロポリスを必ず訪れてく

ださい。エシハでは、市立歴史博物館が所蔵する圧巻の「バックサー一行のモザイク画」を見に行きましょう。

コルドバ県のアルモドバル城まで上って行くと、ドラマシリーズ「ゲーム・オブ・スローンズ」のロケ地となった風景を目にすることができます。グアダルキビル川の滔々と流れる様子を目に焼き付けてはいかがでしょう。レストランでは、定期的に中世の昼食を提供しています。コルドバの街からとても近いので、アクセスも便利です。ローマ帝国時代の城壁やヨーロッパ最大規模を誇る歴史地区は、まるで絵に描いたような風景。街の至宝であるメスキータも訪問しましょう。

また、このルートではカディスの街もおすすめです。植民地時代の雰囲気色が濃く残る路地裏を散策し、ローマ劇場や司教館、考古学博物館などを訪れましょう。暑い日にはラ・カレタビーチで海水浴を楽しむのも良いでしょう。タリファのボロニアビーチもおすすめ。美しいサンセットの眺めは格別です。ここにはバエロクラウディア遺跡群もあります。

## 芸術と 建築

▲ アルタミラ洞窟  
カンタブリア州

先史時代へタイムトリップしてみませんか？  
神秘的な洞窟に残る絵画や彫刻から、人類初と  
なる芸術作品の痕跡を発見しましょう。

### 洞窟芸術を巡る道 イベリア半島の先史時代について学ぶ旅

スペインには、かつての祖先たちの痕跡を見ることができる場所が約100カ所残されています。そのうちユネスコの世界遺産に登録されているのは、アルタミラ洞窟とスペイン北部の洞窟美術、シエガ・ベルデの先史時代の岩絵遺跡群、そしてイベリア半島地中海沿岸の岩絵の3カ所です。ヨーロッパで最古の洞窟壁画を巡る旅では、12カ所を訪れましょう。

グリーンスペインと呼ばれるスペイン北部には、エカインベリ洞窟（ギブスコア県）、アルタミラ洞窟（カンタブリア州）、そしてティト・ブスティージョ洞窟（アストゥリアス州）などがあり、約4万年から1万2,000年前に描かれた素晴らしい壁画や彫刻から、旧石器時代のミステリーに迫ることができます。野外で見られるものとしてはほかにシエガ・ベルデ（サラマンカ県）も挙げられます。

アラゴン州、カタルーニャ州、バレンシア州、カスティージャ-ラ・マンチャ州、ムルシア州、アンダルシア州にまたがる地中海沿岸地域の洞窟の絵は、ヨーロッパ最後の狩猟人たちの狩りの様子や儀式について、芸術性の高いレバント美術と称される、世界でもここで見られないスタイルで描かれています。

独特な模式芸術は、新石器時代、そして青銅・銅・鉄器時代に発展したもので、その素晴らしい痕跡はカンポ・ラメイロ（ポンテベドラ県）、バロンサデロ洞窟（ソリア県）、フェンカリエンテ（シウダ・レアル県）、モンフラグエ城（カセレス県）、ロス・レトレロス（アルメリア県）、ガルダール洞窟（グランカナリア島）などで目にすることができます。

① 詳細：[www.prehistour.eu](http://www.prehistour.eu)



## スペイン北部に ロマネスク芸術を求めて

中世まで時をさかのぼる旅に出ませんか？スペイン北部のロマネスク様式の遺産を巡り、唯一無二の美しい自然風景を楽しみましょう。

アストゥリアス地方のプレ・ロマネスク様式を巡る道も魅力的です。盆地や山々に囲まれ、素晴らしい眺めを伴うモニュメント群は、ユネスコの世界遺産にも登録されています。中でも最も有名なのは、サンタ・マリア・デル・ナランコ教会です。小高い丘の上に建つ教会は、その均整の取れた美しいシルエットに魅せられます。オビエドの街を散策して、カマラ・サンタを見学するのもお忘れなく。収蔵される豪華な金の宝飾品や宝石を目にすることができます。

レイダ県にあるピレネー山脈のボイ渓谷でロマネスク様式建築群を辿る道では、サンタ・マリア・デ・タウル教会など、12世紀から長い年月を経て現存する貴重な教会群の遺産に驚かされることでしょう。

ピレネー山脈では、ウエスカ県のハカにも、スペイン最古のロマネスク様式の教会、サン・ペドロ・デ・ハカ大聖堂があります。ウエスカ県にある、ヨーロッパでも最も保存状態の良いとされるロマネスク様式の要塞、ロアレ城も訪れてみましょう。

さらに西へ進み、カスティージャ・イ・レオン州、サント・ドミンゴ・デ・シロス（ブルゴス県）にあるロマネスク様式の遺産、ベネディクト修道院を見学してください。現在は、宗教的・芸術的巡礼の中心地として機能しています。

また、自然豊かなパレンシア地方のロマネスク様式建築群を巡る道も見逃せません。ヨーロッパでも、ここほどロマネスク様式の教会や小教会が密集している地域はほかにありません。フロミスタにあるサン・マルティン・デ・トゥール教会や、中世の面影を色濃く残す村、カリオン・デ・ロス・コンデスなども、一見の価値ありです。

ロマネスク様式の宝庫とも言われるサモラには、最大規模のロマネスク様式の建築群が残ります。カスティージャ・イ・レオン州で最小かつ最古と言われている大聖堂へぜひ足を運びましょう。16枚のステンドグラスで支えられた見事なドーム状の円天井は圧巻です。またサモラでは、扇状に広がる小さな町、トロも一見の価値があります。ここでは12世紀に建設されたサンタ・マリア・ラ・マヨール教会を見学しましょう。

リベイラ・サクラはガリシア州内陸部に位置する、シル川とミニョ川に挟まれた地です。この地域が中世にいかに重要な役割を担っていたかを垣間見ることのできる中世の修道院が12カ所残っています。特筆に値するのは、ノゲイラ・デ・ラムインの北に位置するサン・エステバン・デ・リバス・デ・シル修道院です。この修道院はリベイラ・サクラで最大規模を誇り、現在はパラドールと呼ばれる豪華なホテルになっています。

## アンダルシア地方の ムデハル芸術に魅せられて

芸術と建築が好きなら、このルートがおすすりめです。イスラム教とキリスト教、この二つの伝統的な芸術様式が融合するムデハル芸術を巡る旅です。

ムデハル芸術は、アンダルシア地方全域で目にすることができます。コルドバでは、シナゴークなどの街に残された素晴らしいモニュメントの数々、そして街の宝であり誇りでもあるメスキータは必ず訪れたいところです。何百本もの柱、重なりあったアーチ、ドーム、彫刻を施された大理石や絵画が生み出す独特な空気を味わいながら見学しましょう。中央に進むと、キリスト教の大聖堂が現れます。

セビージャのアルカサルは、城壁に囲まれた宮殿群です。ムデハル様式とルネッサンス様式を中心に、さまざまな時代の様式が融合した造りになっています。公式行事に使用されていた乙女の中庭や、プライベートなイベント事などに使用されていた人形の中庭を見学しましょう。その庭園の美しさには圧倒されるはず。水路や泉、噴水があちこちに見受けられ、モロ人の文化の香り漂う雰囲気の中を、タイルなどを眺めて散歩するのは気持ちが良いものです。

また、グラナダでも独自のムデハル様式を辿るルートを楽しめます。サンタ・イサベル・ラ・レアル修道院やマドラサ宮殿などの美しい建築物、そして言うまでもなくアルハンブラ宮殿が訪れる人々を迎えます。

### 伝説と共に生き続ける城

スペインには数多くの城が残っています。敵からの攻撃に備え、切り立った場所に建設された正真正銘の砦を、ぜひその目で確かめてください。スペインの城の歴史をひも解くと、ほぼすべてレコンキスタに関係したものとなっています。また、海賊から海岸線を防御する目的で建設されたものもあります。そのうち今日まで残るのはわずか十分の一です。

クエンカにあるベルモンテ城は、ルネッサンス様式建築物の至宝とされ、六芒星の形をした角にはそれぞれ塔が建っています。5月か6月には、城を舞台に中世の歴史を忠実に再現するイベントが開催されます。中世の軍事環境をあらゆる面から知ることのできる良い機会です。



▲ セビージャのアルカサル 乙女の中庭  
セビージャ

セゴビアのコカ城は、まるで時空を超えてタイムスリップしたような気分させてくれる城です。鉄柵の門をくぐり、ぜひ主塔へと上ってみましょう。ゴシック様式が取り入れられた武器庫では、幾何学模様のモザイクが美しい、リブ・ボルトと呼ばれる円天井に息を呑むことでしょう。セゴビアにはモニュメントが数多くあります。街を散策してみましょう。街のシンボルでもあるローマ水道橋は迫力満点です。

ポンフェラーダ城（レオン県）もその迫力においては引けを取りません。テンプル騎士団によって建造されたこの城には、テンプル騎士団図書館、そしてレオナルド・ダ・ヴィンチの作品の複製を含む、1,000以上の作品を所蔵する歴史学研究センターがあります。



▲ ベルモンテ城  
クエンカ

バジャドリの モタ城、ウエスカの ロアレ城、コルドバの アルモダル・デル・リオ城など、スペイン各地には魅力的な城が点在しています。観光案内所で各自治体のおすすめルートを探してみましょう。

## 情熱を感じて:アンダルシアの真髄に触れる道

アンダルシア地方の聖週間や聖像についてもっと知識を深めてみませんか?アンダルシアの真髄に触れる道では、アンダルシア精神の中心とも言える10の街の歴史、芸術遺産、伝統、グルメ、そして自然について学んでいきます。ハエン県のアルカラ・ラ・レアル、コルドバ県のバエナ、カブラ、ルセナ、プリエゴ・デ・コルドバ、プエンテ・ヘニル、セビージャ県のカルモナ、エシハ、オスナ、ウトレラを通ります。

長い歴史が培った偉大な遺産を持つ、それぞれの街の魅力を発見してください。人々の篤い信仰心を感じるののできる宗教行列に参加するのも良いでしょう。アンダルシアの地に脈々と流れる信仰心を受け止めてきた素晴らしい聖像の美しさには目を奪われます。美味しいグルメとアンダルシア人のおもてなし精神には感銘を受けることでしょう。

① [www.caminosdepasion.com](http://www.caminosdepasion.com)



カルモナの聖週間  
セビージャ州

写真:カルモナ観光局



## グルメ体験

▲ ワインテイスティング  
ラ・リオハ州

### ワイン街道

ラ・リオハ と言えば、世界でも知られるワイン原産地のひとつでしょう。ワイン造りの様子を見学してみませんか？ワインの試飲、ワイン樽に囲まれての食事も体験できます。ワイナリーを改造したホテルに宿泊したり、ワインセラピーを受けてリラックスする時間を楽しんだりするのも良いでしょう。この地方には、500を超えるワイナリーがあります。そのうち80のワイナリーで見学を受け付けています。

バスク州ではリオハ・アラベサルートがおすすめ。たとえるなら、ワインの新たな大聖堂。その前衛的な建築物やワイナリーを訪問してみましょう。ラグアルディアにあるイシオス・ワイナリーは、かの有名な現代建築家、サンティアゴ・カラトラバの設計です。また、フランク・ゲー

リーが設計したワインの複合施設もエルシエゴにあります。敷地内にはスパなどリラックス体験ができる施設がそろっています。

ガリシア州の リアス・バイシャス も訪れてみましょう。アルバリーニョワインのすべてがここにあります。若い白葡萄を使って造るフレッシュな白ワインは、この地方ならではの。ワイナリーや葡萄畑を訪れてみてはいかがでしょうか？地元農家の人たちの暮らしを垣間見るのも楽しい体験です。言うまでもなく、アルバリーニョワインはガリシア料理との相性もぴったりです。

カンバードスで行われるアルバリーニョ祭りや、オ・グローベのシーフード・フェスティバルなど、人気グルメ・イベントに参加してみるのも一興です。大西洋諸島国立公園で自然や野鳥と触れ合うのもお忘れなく。アロウサ川でカタマ

ラン(双胴船)に乗ったり、サンシェンシヨ・ビーチでマリンスポーツにチャレンジしたりするのも良いでしょう。ロマネスク様式の教会や、カンバドスにあるガリシア地方特有の荘園のような建築物、パソなど、この地域ならではの興味深いモニュメントを堪能してください。

アンダルシア南部では、マルコ・デ・ヘレス地方を訪れます。ワイン造りの伝統が昔から脈々と受け継がれる観光地です。フィノのような辛口ワインや、モスカテルのような甘くフルーティーなワイン、さらにはマンサニージャなどの芳醇なりキュールを試してみましょ。この地域に息づく文化とグルメ、そして自然環境に、きっと魅了されることでしょう。

ヘレス、エル・プエルト・デ・サンタ・マリア、サンルーカル・デ・バラメダ、ロタ、チクラナなども、このルートでぜひ訪れておきたい街です。年間3,200時間以上の日照時間を誇り、海水浴には絶好の地域です。ぜひ水着を持参して楽しみましょ。ヘレスの王立アンダルシア馬術学校の素晴らしい馬術ショーや、サンルーカルでの競馬など、驚きの体験が目白押しです。ドニャーナ国立公園やロス・アルコルノカレス自然公園などの自然保護地区で、きれいな空気を満喫するのも良いでしょう。

スペイン特産のスパークリングワインであるカヴァは、カタルーニャ州のワイナリーで造られており、見学できる場所もあります。カヴァについて深く知るには、ペネデスのワイン、カヴァ街道を辿りましょ。葡萄の芽吹きを間近で見たいなら「カヴァの春」ツアーへの参加がおすすめです。ヘリコプターに乗って空から葡萄の芽吹きを見ることもできます。

## イベリコ生ハム街道

スペインで製造されている生ハムのうち、イベリコ豚を使用しているものは全体の10%に過ぎません。サラマンカ県南部の牧草地(ギフエロ)、エクストレマドゥーラ州(エクストレマドゥーラ牧草地)、コルドバ県(ロス・ペドロチェス)、そしてウエルバ県(ハブゴ)が主な生産地です。スペイン・グルメの王様とも言える生ハムの食材、イベリコ豚は、屋外で飼育されます。

各地域で観光ルートが設定され、10月から5月にかけて牧場を巡る旅が楽しめます。この時期は山の季節(イベリア豚飼育の最終段階で、牧場で豚を放し飼いにする期間)に当たります。体重100キロを超える豚の間を縫うように牧場を歩きましょう。豚はとても大人しく、隣にいても大丈夫。安心して飼育者の説明を聞くことができます。イベリコ豚製品のテイastingをしたり、生ハムを切っている様子を見学したりするのはもちろん、牧草地を自転車や4輪駆動車で進む体験もでき、さまざまなプランが楽しめます。

イベリコ生ハム





## サンティアゴ 巡礼の道

▲ サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂  
サンティアゴ・デ・コンポステーラ

登山靴の靴紐を結んで、千年を超える歴史を持つ世界遺産に足を踏み入れましょう。目的地は サンティアゴ・デ・コンポステーラという、ガリシア州の街です。キリスト十二使徒の一人、聖ヤコブ（スペイン語でサンティアゴ）が眠ると言われています。サンティアゴ巡礼の道には、毎年何千人もの人が、各々異なる動機（宗教的、個人的理由、文化的興味、スポーツの一環としてなど……）を胸にやって来ます。動機が何であれ、世界中から来る巡礼者と知り合う体験は、忘れがたい最高の思い出となるはずです。

出発する前に、どのような方法で巡礼を行うかを決めましょう。徒歩で、自転車で、馬に乗って、さらにはヨットでカ

ンタブリア海を通じて、という行き方もあります。

サンティアゴを目指すルートはさまざまです。一番巡礼者数が多いフランス人の道は、ピレネー山脈を出発し、カンタブリア山脈の南側を通ってガリシア州まで行くルートです。

巡礼道の最終目的地は、ア・コルーニャ県の賑やかな街、サンティアゴ・デ・コンポステーラです。ロマネスク建築の至宝、サンティアゴ大聖堂では、数ある礼拝堂からスピリチュアルなエネルギーを感じられるはずです。大聖堂は、いくつもの巡礼ルートの最後の合流地点である、美しいオブラドイロ広場にあります。

「フランス人の道」以外にも、サンティアゴを目指すルートはいくつもあります。古代の道は 最古の巡礼ルートです。アストゥリアス州西部の緑深い道を進んでいきます。北の道はカンタブリア海の沿岸を通るルートです。バスク州、カンタブリア州、アストゥリアス州 そして ガリシア州の海岸線を望む素晴らしい巡礼の道になっています。

どのルートを選んでも、素晴らしい体験が待ち受けています。道中の美味しい郷土料理を満喫するのもお忘れなく。

▼ モンテ・ド・ゴソ  
サンティアゴ・デ・コンポステーラ





 <p>MINISTERIO DE INDUSTRIA, COMERCIO Y TURISMO</p>	<p>TURESPAÑA </p>
--	---

 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain